

提案書評価基準

1 基本的な評価事項

表 1 基本的評価事項

評価項目	評価の着目点	配点	基準点 (a)	評価 (b)	各評価点 (c=a×b)	
類似業務の実績 (15 点)	本業務に生かすことのできる過去の類する実績を有しているか ※過去の実績は『(4)国、都道府県、政令市、特別区及び従業員数 301 人以上の民間企業のいずれかにおいて、経営・幹部層への研修実績（当該業務について参加意向申出書提出時点で完了しているものに限る）』	15	3			
提案内容 (20 点) 提案内容 ○民間企業トップ層 (2 名) との対話 (60 点) ○政策提言の運営 (20 点)	実施方針が明確で、業務説明書との整合性が取れているか	10	2			
	業務内容を正確に理解しているか	10	2			
	民間企業トップ層 (2 名) との対話					
	対話における実施内容が、プログラムの狙いに沿ったファシリテーションを実現するための具体的・現実的・効果的な提案となっているか	20	4			
	対話の実施内容において、受講者を積極的に議論に参加させる効果的な提案となっているか	20	4			
	従事予定のファシリテーターが、過去に類似プログラムや幹部研修（官民間問わず）においてファシリテーターの経験・実績を有しているか	20	4			
	政策提言の運営 (補助)					
政策提言に係るプログラム全体の運営方法が、具体的・現実的・効果的な提案となっているか	10	2				
最終発表において、運営方法が具体的・現実的・効果的な提案となっているか	10	2				
積極性	上記項目以外に、本業務目的の達成に向け、取組意欲が感じられるか	5	1			
小計 (d) (120 点満点)						

評価項目(加算項目)	評価の着目点	配点	評価点(x)
企業としての取組	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員100人以下の場合のみ加算)	1点	
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員100人以下の場合のみ加算)	1点	
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定(トライくるみんマーク、くるみんマーク、プラチナくるみんマーク)の取得	1点	
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし・プラチナえるぼし)の取得	1点	
	よこはまグッドバランス賞の認定の取得	1点	
	若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール)の取得	1点	
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.5%達成	1点	
	健康経営銘柄、健康経営優良法人(大規模法人・中小規模法人)の取得、又は、横浜健康経営認証のAAAクラス若しくはAAクラスの認証	1点	
小計(y) (8点満点)			
合計(z=d+y) (128点満点)			

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点	評価				
		A (5点)	B (4点)	C (3点)	D (2点)	E (1点)
予定技術者の経験及び業務実施能力	現場責任者	2件以上の実績がある	/	実績がある	/	実績がない
	現場責任者が本業務に生かすことのできる過去の類する実績を有しているか					
	実施方針が明確で、業務説明書との整合性が取れているか	十分な理解に基づいた的確な提案である	理解に基づいた的確な提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい提案である	理解が乏しい提案である
	業務内容を正確に理解しているか	十分な理解に基づいた的確な提案である	理解に基づいた的確な提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい提案である	理解が乏しい提案である
提案内容	民間企業トップ層(2名)との対話					
	対話における実施内容が、プログラムの狙いに沿ったファシリテーションを実現するための具体的・現実的・効果的な提案となっているか	提案内容は実施するにあたり、十分に具体的・現実的・効果的である	提案内容は実施するにあたり、具体的・現実的・効果的である	どちらともいえない	提案内容は実施するには具体的かつ効果的だが現実的ではない	提案内容は実施しても効果的ではない
	対話の実施内容において、受講者を積極的に議論に参加させる効果的な提案となっているか	提案内容は実施するにあたり、十分に効果的である	提案内容は実施するにあたり、効果的である	どちらともいえない	提案内容は実施するにあたり、やや効果的である	提案内容は実施しても効果的ではない
	従事予定のファシリテーターが、過去に類似プログラムや幹部研修(官民間問わず)においてファシリテーターの経験・実績を有しているか	2件以上の実績がある	/	実績がある	/	実績がない
	政策提言プログラムの運営(補助)					
	政策提言の運営方法が、具体的・現実的・効果的な提案となっているか	提案内容は実施するにあたり、十分に具体的・現実的・効果的である	提案内容は実施するにあたり、具体的・現実的・効果的である	どちらともいえない	提案内容は実施するには具体的かつ効果的だが現実的ではない	提案内容は実施しても効果的ではない

		最終発表において、運営方法が具体的・現実的・効果的な提案となっているか	提案内容は実施するにあたり、十分に具体的・現実的・効果的である	提案内容は実施するにあたり、具体的・現実的・効果的である	どちらともいえない	提案内容は実施するには具体的かつ効果的だが現実的ではない	提案内容は実施しても効果的ではない
積極性	上記項目以外に、本業務目的の達成に向け、取組意欲が感じられるか		十分に取組意欲が感じられる	取組意欲が感じられる	どちらともいえない	やや取組意欲が感じられる	取組意欲が感じられない
企業としての取組	表1の「評価の着眼点」に記載した項目についていずれか1つ以上を満たしているか。						

※加算項目である「企業としての取組に関する視点」については各項目を1つ満たすごとに1点加算することとする。

2 評価方法

(1) 基準点(a)について

評価項目ごとに、審査上の重要度を踏まえて基準点(a)を4段階（4点～1点）で設ける。

(2) 評価(b)について

Cを標準評価として、項目ごとに上記の評価基準に基づき、A、B、C、D、Eの3段階もしくは5段階評価を行う。

配点は以下のとおり。

ア A = 5点

イ B = 4点

ウ C = 3点

エ D = 2点

オ E = 1点

(3) 評価の換算方法について

基準点(a)×評価(b)=評価点(c)で換算し、項目ごとに小計(d)を出す。

(4) 評価点(x)について

各項目を1つ満たすごとに1点加算し、小計(y)を出す。

(5) 評価について

ア 項目ごとに算出された評価点(c)、評価点(x)をそれぞれ合計し、小計点(d)、小計点(y)を算出する。そして、合計点(z)が最も高いものを委託業者として選定する。

イ 合計点(z)が同点の場合は、評価委員会にて協議を行い、当該業務にもっとも適した者を選定する。

ウ 「提案内容」においてE評価のある者は原則として選定しない。